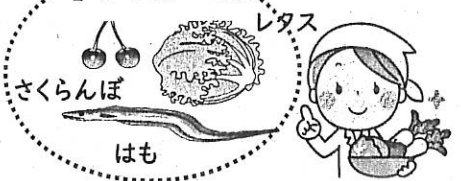




6月の給食だより

【旬の食べ物】



6月の
テーマ

食事のマナーを考える

～思いやりの心を態度であらわそう～

毎日の食事の時間、みなさんは食べ方について注意されたことはありませんか。

「マナー」というと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、決して難しいものではありません。長い歴史の中でつくられてきた生活の知恵・作法のことで、いろいろな人への思いやりの気持ちが基本となっています。

今月は、給食および食事に関するマナーについて、改めて考えてみましょう。



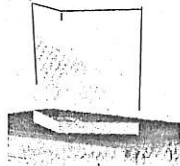
【準備のマナー】

早く準備を終え、みんなが決められた時間内に余裕をもって食べ終わるように協力しよう！

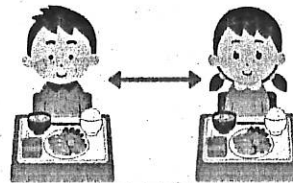


準備作業に素早くとりかかり、食べる時間に余裕を持とう。
清潔な給食当番の服装を身に付け、しっかり手を洗い、消毒しよう。

シールドを上手に活用し、飛沫感染対策をしよう。



対面にならない、間隔をあける座り方の工夫をしよう。



お箸やお皿の共用は避けましょう。お代わりの方法にも注意しよう。

【食事中のマナー】

心をこめて挨拶し、好き嫌いせずなるべく残さない食事をしよう！



食材となった命への感謝をこめた食前の挨拶。
「いただきます」

調理した人、食材を生産した人への感謝をこめた食後の挨拶。
「ごちそうさま」

みんなが気持ちよく食事を食べられる雰囲気を作ろう。

好き嫌いしないで残さず食べよう。
食べ物を大切にしよう。

せきエチケット



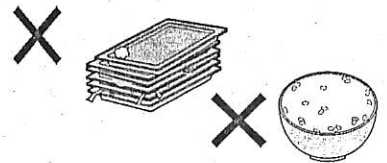
マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

【食後のマナー】

- ・食器やトレイに米粒やビニール片などが残っていないか確認してから返却しよう。
- ・きれいな食器を返すことで、調理した人に感謝の気持ちを表そう。



食事のマナーの基本となっているのは、相手への思いやりの気持ちです。毎日の給食には、食材となった命、料理を作った人、食材を生産した人など、たくさんの人の思いがこめられていることを忘れてはなりません。一緒に食べる仲間と楽しく、おいしく食事をいただくことで、感謝の心を表すことができます。自分にできることを考えてみましょう。



「食育」を推進するため、2005年に制定された「食育基本法」に基づく『食育推進基本計画』により、毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」と定められています。食育とは、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等を目的とし、自らの食について考え、さまざまな知識と、食を選択する力を身につけるための学習などの取組のことをいいます。

食育の最終目標

『自ら食について考え、判断する能力を養成』し、『人間力を向上させる』

天理市では、天理市食育推進計画を定め、学校給食における地場産物の活用をすすめるとともに食文化や食品について紹介した「給食ニュース」を毎月配布して、生徒の食への関心を高める取組を行っています。



毎月19日は
食育の日